

仙台市放課後子ども総合プラン実施方針の取組みに関する提案（案）に対する意見について

1 第3回委員会が出された意見

項目	委員名	意見	方向性	
1 本テーマを取り上げた背景	P. 1～2 (1)	梨本委員長	▶ 児童クラブと子ども教室が連携する意義や全体として何を目指していくのかを追記してはどうか。	1 (1) から (4) までの記載順を入れ替え、6を含め内容を修正する。
	～ (4)	佐藤 (亜) 委員	▶ 地域全体で子どもを育てていく必要がある旨を記載した方がよい。	
		三浦委員	▶ 人口減少や児童の安全確保等、総論的な背景が冒頭にあると目的が明確となる。 ▶ 「国の動向」、「市の児童クラブ及び子ども教室に関する経緯」の順に記載してはどうか。	
		小岩委員	▶ 児童館以外において児童クラブを実施している都市もあるため、「市の児童クラブ及び子ども教室に関する経緯」の記載は必要である。	
		遠藤委員	▶ 今回のテーマを「児童クラブと子ども教室の連携の在り方」としているため、総論的なものは「国の動向」としてテーマに沿った形で記載している。	
4 両事業の連携の在り方等	P. 10 (3)	梨本委員長 佐藤 (亜) 委員 佐藤 (ゆ) 委員	▶ 連携する上で①から④まで様々な選択肢があり、可能なものから取り組んでいただく等、読み手にとって参考となるよう、導入部分で分かりやすく記載すべき。	4 (3) を修正する。
	P. 14 (3) ④ iii	梨本委員長	▶ 状況に応じた保険の適用方法をもう少し具体的に記載した方がよい。	4 (3) ④ iii に具体例を追記し、5 (5) を修正する。 運用の中で整理する。
		長内副委員長	▶ 活動内容によって保険内容も異なるため、もう少し具体的に記載した方がよい。	
		堀越委員	▶ 児童の安全を確保するためには人材確保が重要となる。	
		佐藤 (亜) 委員	▶ 保険の適用について、適宜事務局に相談できる体制があるとよい。	
		三浦委員	▶ 行事等を実施する際は、保険適用について事前に保護者に対し説明すべき。	
5 市及び教育委員会の取組み	P. 15 (2)	長内副委員長	▶ 具体的にどのような方法があるかについても記載すべき。	5 (2) に具体例を追記する。

項目		委員名	意見	方向性
	P. 15 (6)	佐藤(亜)委員	▶ 両事業の連携した取組みを新たに実施する際は、保険料や材料費だけでなく、職員の加配等に関する財政措置も必要である。	5(3)(6)を修正する。
		長内副委員長	▶ 具体的にどのような財政措置があるかについても記載すべき。	
6 むすび	P. 16	長内副委員長	▶ 4段落目の後半に「全ての児童が放課後に多様な体験・活動～」とあるが、「安全・安心に過ごすことができる」旨も加えてほしい。	6に左記内容を追記する。
別添3 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の連携に関する実施状況調査等について	全般	三浦委員	▶ 両事業の連携の在り方につながるよう、アンケート調査の結果に係る考察を記載すべき。	3及び別添3にまとめを追記する。
	P. 2~3 2(1)	小岩委員	▶ 実施状況調査の効果、課題、小学校との関わり等の回答内容に、回答した運営主体名を記載した方がよい。	別添3の2(1)に運営主体名を記載する。
	P. 7、11 2(2)(3)	小岩委員 梨本委員長	▶ 「⑧子どもの放課後の過ごし方に関する考え」の「児童クラブの利用が多く、もう少し親子の時間増やしたい」を「もう少し親子の時間を増やしたい」とした方が分かりやすい。	別添3の2(2)(3)を修正する。
その他	—	佐藤(亜)委員	▶ 欠席した委員に対しても可能な範囲で意見を伺った方がよい。	意見票を欠席委員に送付する。

2 意見票により出された意見

項目		委員名	意見	方向性
3 両事業の連携等に関する調査	P. 6~7	小岩委員	▶ 加茂、東宮城野、袋原及び館学区において、連携にあたり振返りの機会を設ける等、具体の連携方法を検討すべき。	提案書を踏まえ今後検討していく。
4 両事業の連携の在り方等	P. 8~10 (2)	小岩委員	▶ 連携に関する参考事例の各学区に一体型又は連携型の分類を記載すべき。	4(2)に左記内容を追記する。
その他	—	堀越委員	▶ 両事業の連携にあたり、児童クラブ及び子ども教室を利用している子どもの意見を吸い上げることも大切である。	提案書を踏まえ今後検討していく。